

エムポックスについて

2025 年（令和 7 年）11 月 19 日
長野県健康福祉部疾病・感染症対策課

エムポックスとは

- ・ エムポックスとは、エムポックスウイルスによる感染症で、ウイルス性の急性発疹性疾患です。
- ・ 主にアフリカ大陸に生息するリスなどのげっ歯類がウイルスを保有しています。
- ・ エムポックスウイルスは大きく、クレードⅠ（中央アフリカに常在）、クレードⅡ（西アフリカに常在）の 2 つのグループに分かれています。2022 年 5 月以降に欧米等を中心にクレードⅡが流行し、2023 年以降にアフリカにおいてクレードⅠ（クレードⅠb）の流行が発生しました。

症状

- ・ エムポックスウイルスへの感染後、通常 6 ～ 13 日後に症状が出現します。
- ・ 水ぶくれを伴う発疹に加え、多くの場合、発熱、寒気、倦怠感（だるさ）、リンパ節の腫れ、頭痛、筋肉痛などの全身症状があらわれます。
- ・ 多くの場合は発症から 2 ～ 4 週間で回復するとされています。

発生状況

- ・ 全国の発生状況は下表のとおりです。
- ・ 長野県では 2025 年第 46 週に県内初事例（1 例）が発生しました。

【全国のエムポックス発生状況】

年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
人数（人）	0	0	7	225	19	8 ※

※令和 7 年 11 月 9 日時点の速報値

感染経路

〔接触感染〕

- ・ 感染した人や動物の皮膚の病変、体液、血液に触れた場合（性的接触を含む）
- ・ 患者が使用した寝具等に触れた場合

〔飛沫感染〕

- ・ 患者と近くで対面して長時間の飛沫にさらされた場合

予防方法

- ・ エムポックスが常在する国や地域（主に中央アフリカや西アフリカ地域）に渡航する場合、現地の野生動物（特にネズミやリスなどのげっ歯類）との接触を避けましょう。
- ・ 感染している人や感染が疑われる人とは、次の接触を避けるようにしましょう。
 - 感染している人の発疹、カサブタ、体液や血液に触れること
 - 性的な接触（口の中、肛門、性器との接触を含む）
 - 近距離での対面で飛沫に長時間さらされること
 - 感染している人が使用した寝具や器具などに触れること
- ・ 万一、発熱や発疹等の感染が疑われる症状がある場合は、最寄りの医療機関に相談してください。

〔参考〕

厚生労働省「エムポックスについて」https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html
国立感染症研究所 感染症情報提供サイト「エムポックス」<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/mpox/index.html>